

令和5年 議会報告会

令和5年3月25日（土）14：00～

成田公民館

主催：富谷市議会

議会報告会に関するお願い

この度は議会報告会へ足をお運びいただき、誠にありがとうございます。円滑かつ実り多き会とするため、以下のことをご協力いただきたくお願い申し上げます。

1. なるべく多くの方からご意見をいただくため、お一人一問でお願い致します。
2. 進行を円滑にするため、質問時間はおよそ1分以内でお願い致します。
3. 質問応答者の指名は出来かねますので、ご了承願います。
4. 個人名を挙げた誹謗中傷は禁止です。

次第

- 1 開会 14:00～
- 2 開会あいさつ 青柳信義 議長 14:00～
- 3 報告会の進め方について 14:05～
- 4 議会報告 14:10～
各常任委員会の活動状況について 説明・質疑
- 5 意見交換 14:50～
 - ①事前に寄せて頂いた意見に対する回答
 - ②参加者との意見交換
- 6 閉会あいさつ 浅野直子 副議長
- 7 閉会

【総務常任委員会】

●構成

◎委員長：金子 透 ○副委員長：村上 治
委員：渡邊清美、畑山和晴、高橋正俊、安住稔幸

●主な活動内容

市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等
について、調査や審査をします。

●所管

企画部（企画政策課、財政課）
総務部（総務課、防災安全課、市民協働課）
市民生活部（市民課、生活環境課、税務課）
市長公室、会計課等

所管事務調査

- 令和4年5月13日
「一時避難所の開設・運営について」
調査先：富谷市 防災安全課
- 令和4年7月25日
「空き家を活用した移住・
定住促進について」
調査先：宮城県栗原市
- 令和4年10月26日
「公開事業見直し『入間ドック』について」
調査先：埼玉県入間市



所管事務調査

- 令和4年10月27日
「DX推進の取り組みについて」
調査先：群馬県渋川市
- 令和4年10月28日
「宇都宮LRTについて」
調査先：栃木県宇都宮市
- 令和5年1月17日
「DX推進について」
調査先：富谷市 総務部 情報デジタル化推進室



空き家等対策

富谷市では「富谷市空き家等対策計画」を策定し、長期間管理不全となっている空き家による地域の生活環境改善を推進しています。また、特定空き家の判定基準・認定基準を、令和4年度中に定めることとしています。

栗原市の空き家対策は先行事例として学ぶものは多いと考え、調査先に選定しました。



空き家バンク

□住まいる栗原ホームサーチ事業の仕組み（H25.7月～）



※安心した取引のために、契約の際は不動産業者の仲介をお勧めしています。

- * 完全直営方式による運用（不動産事業者等との連携）：無
- * 国交省「全国版空き家・空き地バンク」：未登録

空き家等対策

【調査先について】

栗原市企画部定住戦略室

【栗原市の取組】

移住定住サポート事業：

移住定住支援員による移住相談

空き家等利活用事業：

空き家バンク・リフォーム助成

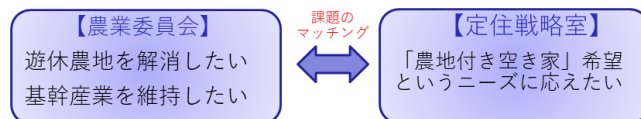
交流・移住体験推進事業：

農泊連携型お試し移住体験



空き家バンク

□空き家に付属する農地取得の下限面積の緩和（平成30年4月～）



▽空き家に付属する農地取得に限り、下限面積を

50a→0.1a (10㎡) に緩和

▽農ある暮らしを求めて地方移住を希望される方をサポート

□空き家リフォーム助成（平成25年7月～）

▽空き家を購入または3年以上借りる転入者に対して
リフォーム工事費を助成（*対象経費の1/2：上限額40万円）

基幹公共交通システム

富谷市では仙台市との交通アクセス向上に向けた「基幹公共交通の整備」について、持続可能な公共交通システムの整備を図り、明石台地区、成田地区、大清水地区を拠点とした泉中央駅からの基幹公共交通の整備を最重点プロジェクトとして取り組みを進めています。

宇都宮市の取り組みは最新の類似事例として学ぶものは多いと考え、調査先に選定しました。



基幹公共交通となるLRTとは？



Light Rail Transitの特徴

- ① 専用空間を走行するため、時間に正確
- ② 騒音や振動が少なく快適な乗り心地
- ③ 車両の床が低く平らで、乗り場との間に段差や隙間が殆どないため、誰もが乗り降りしやすい構造
- ④ 他の交通手段と同じ高さ（道路上）なので、連携がスムーズ
- ⑤ 個性的で洗練された車両デザインは、「まちのシンボル」に



基幹公共交通システム

【調査先について】

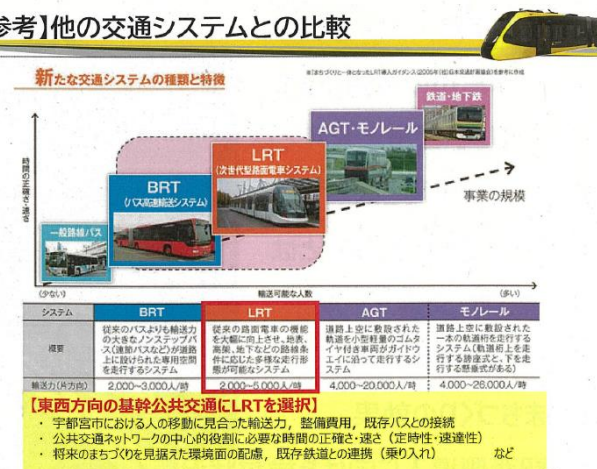
宇都宮市建設部LRT企画課協働広報室

【宇都宮市の取組】

- 平成5年度：新交通システム研究会設置
- 平成24年度：「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」策定
- 平成28年度：「軌道運送高度化実施計画」の認定（特許取得）
- 平成30年度：起工式、工事着手
- 令和4年度：試運転
- 令和5年度：開業予定



【参考】他の交通システムとの比較



【教育民生常任委員会】

●構成

◎委員長：塩田智明 ○副委員長：長谷川る美
委員：佐藤浩崇、藤原 峻、出川博一、浅野直子

●主な活動内容

教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等
について、調査や審査をします。

●所管

保健福祉部（長寿福祉課、地域福祉課、子育て支援課、
健康推進課）

教育委員会（教育総務課、学校教育課、生涯学習課）

所管事務調査

- 令和4年4月21日
「第8期介護保険事業計画の実施状況について」
調査先：富谷市 長寿福祉課、保健福祉総合支援センター
- 令和4年8月1日（新型コロナの影響で受け入れ不可となり中止）
「市民図書館等複合施設に係る先進事例について」
調査先：利府町文化交流センター リフノス
- 令和4年10月26日
「図書館を中心とした大和市文化創造拠点
の取り組みについて」
調査先：神奈川県大和市
文化創造拠点シリウス



所管事務調査

- 令和4年10月27日
「日本初の不登校特例校『高尾山学園』
の教育活動について」
調査先：東京都八王子市立高尾山学園

- 令和4年10月28日
「障がいのある子も楽しめる砧公園「みんなの
ひろば」整備経緯と運営状況について」
調査先：東京都立砧公園「みんなのひろば」

- 令和5年1月17日
「不登校特例校
富谷市立富谷中学校西成田教室について」
調査先：富谷市立富谷中学校西成田教室



図書館を中心とした大和市文化創造拠点シリウス

飲み物と一緒に本を楽しめる新しい図書館

図書館を中心に、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場のほか、カフェや戸籍や住民票の発行ができる大和市役所の連絡所などが入った複合施設です。

複合施設は、地上6階、地下1階。延べ床面積は約2万3千平方メートルで、6社による指定管理者が運営しています。

図書館は、開館3年で累計来館者数1,000万人を超え、来館者数日本一と言われています。



コンセプトは「居場所づくり」(座席数990席)



複合施設内の「げんきっこ広場」

図書館を中心とした大和市文化創造拠点シリーズ

■特徴

- 館内どこでもおしゃべりや飲み物と一緒に本を楽しむ。
- 人手を介さない、予約貸出、自動貸出・返却。
- セルフ利用の図書除菌機を設置。



自動貸出機



自動返却機



図書除菌機

本市では、「富谷市民図書館等複合施設整備」の基本設計が進められ、これまで、市民ワークショップを3回開催してきました。富谷市民図書館等複合施設は、令和7年度中の開館予定です。

日本初の不登校特例校「高尾山学園」の教育活動

不登校特例校の壁は人材と予算、市と議会の理解が必要

平成16年4月に日本初の不登校特例校として開校。「こころの安定」「学習支援の充実」を図りながら、適切な学習支援による基礎学力の向上と、集団的・体験的な活動の機会を多く取り入れて社会性を養っています。



■特色ある教育活動

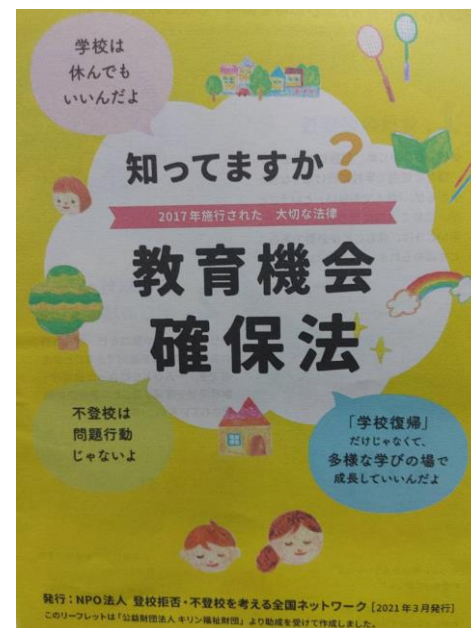
- 人とのかかわり、多彩な体験（家庭菜園、祭り等で地域との交流）
- コース別授業、指導補助員による支援等で基礎学力向上を図る
- 授業が嫌でもプレイルームなどの居場所がある
- 相談活動 SCや心理相談員など臨床心理士を中心とした教育相談

不登校特例校 富谷市立富谷中学校西成田教室

本市は、東北初の不登校特例校として令和4年4月に「西成田教室」を開設しました。「総合的な学習の時間」を多く設定し、自分の興味・関心に合わせた学習を通して、子どもたちの自己肯定感を高めています。



多様な学びができる環境が整備されていることや、相談体制など充実した取り組みが大事であることなどを調査できました。



【産業建設常任委員会】

●構成

◎委員長：菅原福治 ○副委員長：菊池美穂
委員：浅野武志、若生英俊、渡邊俊一

●主な活動内容

経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等
について、調査や審査をします。

●所管

経済産業部（産業観光課、農林振興課）

建設部（都市整備課、都市計画課、上下水道課）

所管事務調査

- 令和4年5月12日
「市内の農業生産推進策の
取り組みについて」
調査先：富谷市
経済産業部 農林振興課
- 令和4年7月29日
「都市近郊型園芸農業の現状と
戦略について」
調査先：株式会社デ・リーフデ大川
(宮城県石巻市)
- 令和4年11月16日
「観光物産拠点施設整備事業について」
調査先：埼玉県越谷市
環境経済部 経済振興課



所管事務調査

- 令和4年11月17日
「アグリビジネスパーク事業について」
調査先：千葉県柏市
経済産業課、農政課



- 令和5年1月18日
「『道の駅さんさん南三陸』の運営について」
調査先：南三陸町



市内の農業生産推進策の取り組み

農業は米価下落、高齢化、後継者不足、主食の多様化による消費低迷、耕作放棄地の増加等多くの課題を抱えているため、調査しました。

【現在の取り組み】

- ①転作は飼料米、大豆、野菜、果樹等、多品種を栽培し、収益に繋げる。
- ②6次化商品として付加価値を付ける。
- ③人材確保や融資を受けやすくなる等のメリットがある、農業法人経営の推進。

食料自給について国・県に要望を重ねることや、農業に活力を取り戻すための強いリーダーシップが必要であるなど大変勉強になりました。



アグリビジネスパーク事業について

本市では交流人口拡大のため、さらなる観光や農業レクリエーションニーズの機運醸成が必要であり、柏市の先行事例に学びました。

【柏市の取り組み】

- ①農業や、観光、レクリエーションの振興によるアグリビジネス事業を設立。
- ②農家と行政主体による、地産地消や農産物の6次化等、成果を上げている。

都会の豊かさやゆとりを享受するための「農・食・遊」や、自然や歴史を活かし、交流人口の増加に繋げる必要があることなど調査出来ました。



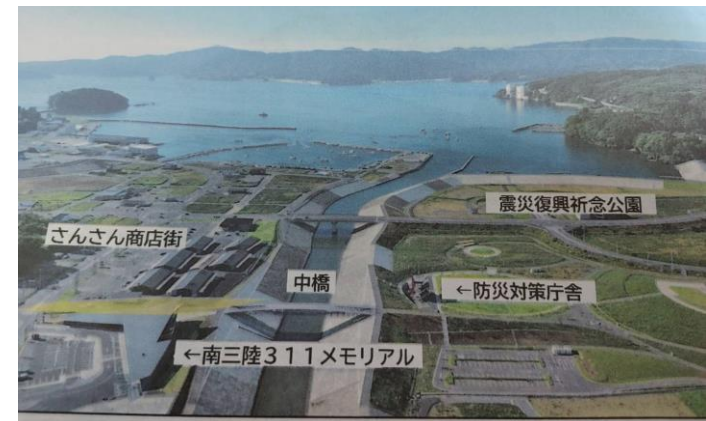
道の駅「さんさん南三陸」の運営について

震災から12年、町は全てを失った悲しみの中で、ふるさとを取り戻し、次世代に繋ぐ決意で道の駅等を整備。地域資源の活用や伝承について学びました。

【南三陸の取り組み】

- ①道の駅、震災伝承館、観光拠点、交通拠点を一体的に整備。
- ②農業・漁業・民泊の体験等による、地域資源の活用と伝承。
- ③町全体をフィールドとしてチャレンジ。

災害に対する沿岸部と内陸部の被害の差異を改めて認識し、自然や文化の継承、地域資源を最大限活用し、次世代に誇れる地域活性化を進めることが大事であると学びました。



質疑応答

**本日はご来場
ありがとうございました。**

富谷市議会議員一同

